

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

<4月>3年…「バンビライン登山」

・目的「勝山市のお宝さがし」、「地域の環境を知ろう」の学習をとおり地域の山のブナの木や自然にふれたりスケッチをしたりして気付かなかったことについて理解を深める。

○勝山市の環境を俯瞰することによって河川、山脈等の関係を学年なりに掴む学習活動をする。各施設の場所と全体的位置関係を把握する。

<5・9月>

5・6年…「勤労生産交流活動・田植え・稲刈り」

・目的 米づくりを通して地域の方々と交流活動をし、地域に愛着を持ち、地域に生きる人々の知恵や技を学ぶ。

○田植え前の田に苗を植えるための印を付ける枠回しをする。

○田植えや稲刈りを通して稲の育ちと収穫までの手順を知る。

○田植えや稲刈りまでをふり返り人や自然の恵みに感謝の心を持つ。

○実った後の稲を手作業でハサがけ、足踏み脱穀機とコギバシで脱穀、トウミで籾選別をする。

○家庭科のご飯を炊く学習と関連させて栄養について調べ味わう。



〈 地域の方に教わる 〉

<6月>

① 低・中・高学年ごとに赤トンボ調査

・目的 赤とんぼの羽化様子を調査し教科の学習と関連させる。

○マーキングの仕方を共通理解したり用具の準備をしたりする

○業間の時間や「総合的な学習の時間」を使い全校で孵化したアキアカネ、ナツアカネ、ノシメトンボにマーキング活動をする

○マーキング数を記録する

○低学年は生活科、中学年は理科の「昆虫」や「温かくなると」、高学年は総合的な学習の時間の「環境」に関する学習と関連づける。

② 5・6年と保護者によるビオトープ清掃

・目的 水流が弱く田畑の排水が淀むビオトープの水草や雑草を除き鹿谷町のきれいな水に生息する生き物が住む河川環境に近づける。



〈PTAの方とビオトープそうじ〉

- 鹿谷川の生き物調査
- コカナダモや、雑草を取り除く
- ヘドロを取り除く

「そうじしてかないときれいにならないね。」

「前年よりきれいになってきているね。」という発言があった。

<10月>

① 1～5年生「特定外来生物セイタカアワダチソウ駆除活動」

- ・目的 特定外来生物を知る。セイタカアワダチソウの繁殖地域を知る。鹿谷町の自然を大切にしようとする心を育てる。

- 鹿谷地区本来の秋の自然風景を確かめる。
- セイタカアワダチソウを駆除、侵入している地域を確かめ駆除する。
- どの場所に生えているか下見をし、計画を立てる。
- セイタカアワダチソウの生態について学習し駆除の必要について理解する。
- 地区へ行って学年で活動する。
- 学校手配の車で運んだあと市のゴミ収集車で処理場に運んでもらう。

② 6年・中学校…「特定外来生物セイタカアワダチソウ駆除活動」

- ・目的 中学生と一緒に地域の中でも特定外来生物が多い地区に出向き住民の方に駆除を呼びかけたり駆除したりして歩く。

- 勝山北部中1年生（本校出身の生徒）から活動の意図や方法の説明を受ける。

- 志田方面の道路造成地でグループに分かれ中学生と協働で駆除をする。

「セイタカアワダチソウは人が地面を作り直したところばかり生えている。」

「この活動は地区を美しくする大事なものだから続けて欲しい。」という発言があった。

- 学年のおたよりや学校のおたよりで児童や地域に活動状況や願いを発信する。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（)